

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
保健	2・東書 新しい保健	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識が簡潔にまとめられており、大切な部分は、ゴシック体にして見やすいように工夫されている。 ○ 文字や資料が大きくて見やすく、教科書とワークシートが一体化しているという特色があり、ワークシートを準備しなくても教科書に学びの記録を残すことができる。教師も児童も学習が進めやすい。 ○ 児童の生活場面を想起させる資料を配置し、身近な例から課題に気付いたり、課題を見付けたりすることができる。 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得や主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、各小単元が4つのステップに分けられている。 ○ ステップ1「気づく・見つける」で自己の課題を発見し、ステップ2と3において、課題解決に向けて、調べたり、話し合ったり、説明したりする活動を設定することで、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。ステップ4「まとめる・生かす」で保健の見方・考え方を整理し、学習したことをこれからの生活に生かすことができるように工夫されている。 ○ ステップ1からステップ4のそれぞれの発問を工夫することにより、健康の保持増進や体力の向上を図ったり、安全な環境を整えたりするなど、保健の見方・考え方が働くように構成されている。 ○ 「資料」で運動領域との関連を示し、運動に関する内容が随所に取り上げられている。「実習」では、分かりやすいイラストやデジタルコンテンツを提示して、体験を伴った学習形態を取り入れ、主体的に取り組めるように配慮されている。 ○ 単元末の「学習を振り返ろう」では、もっと知りたい、調べたいと思ったことを書く欄が設けられ、さらなる学びへの意欲を喚起するように工夫されている。 ○ 各単元の導入ページに目標や他教科とのつながり、学習の進め方などが明示されていることで、学習の見通しがもてるという工夫が見られる。